



議会だより



おもな内容

初議会新体制の紹介	2
3月定例会	4
予算審査特別委員会	7
一般質問 (5人)	13
新議員紹介	22

ぼくの植え直し 5月4日



新しい議会体制で

住民の負託に応えます

一般選挙後の臨時会（初議会）が、5月12日に開会されました。最年長議員である荒金敏江議員が臨時議長を務め、議長選挙が行われ、無記名投票の結果、山本芳昭議員が7票を獲得し当選しました。

山本新議長により副議長選挙が行われ、近藤仁志議員が7票を獲得し当選しました。続いて、各常任委員および、議会運営委員の選任などが行われ、新しい体制が決まりました。

新議長あいさつ



山本 芳昭 議長



近藤 仁志 副議長

第3回日南町議会臨時会におきまして、日南町議会議長に就任いたしました。前期4年間、議員各位をはじめ執行部そして何よりも町民の皆様のご理解とご協力を賜り議長職を全うすることができました。心より感謝申し上げます。

今期も議会の3つの機能としての監視機能・政策立案機能・民意吸収機能の充実により一層務めてまいります。

今後の重要課題として日南病院の改築。園児数が10名以下になった認定こども園石見分園と山の上分園を含めた認定こども園のあり方。道の駅周辺の中心地域整備構想の再検討などがあります。医療施設としての日南病院、教育施設としての認定こども園や中学校、コンパクトビレッジ構想の中心となる太田原周辺の整備など日南町の10年20年先の姿が決まってくる重要な任期となります。その他、農林業の振興など多くの課題がございますが、課題解決のために積極的に取り組んでまいります。

何卒、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年5月12日に開かれた改選後初めての臨時会

日南町議会の新体制

総務教育常任委員会

- 委員長 大西 保
- 副委員長 岩崎 昭男
- 委員 荒木 博
- 荒金 敏江
- 岡本 健三
- 榎田 洋一

経済福祉常任委員会

- 委員長 榎田 洋一
- 副委員長 荒木 博
- 委員 高橋 洋志
- 久代 安敏
- 岡本 健三
- 近藤 仁志

議会広報常任委員会

- 委員長 久代 安敏
- 副委員長 高橋 洋志
- 委員 荒金 敏江
- 岩崎 昭男
- 大西 保
- 近藤 仁志

常任委員会とは

議会で取り扱う案件は多種多様化しています。これを専門的、能率的に審査・調査するために常任委員会を設けています。

日南町議会では3つの常任委員会があり、委員の数はそれぞれ6人で任期は2年です。なお、議長はどの常任委員会にも所属しません。

議会運営委員会

- 委員長 岩崎 昭男
- 副委員長 大西 保
- 委員 久代 安敏
- 榎田 洋一
- 近藤 仁志

議会運営委員会とは

議会を円滑に運営するために設けられ、会期や議案の取り扱いなどについて協議します。また、議会に関する条例や規則に関することなど議長の諮問的役割を持つています。委員の数は5人で任期は2年です。

西部広域行政 管理組合議会

- 議員 山本 芳昭

鳥取県後期高齢者 医療広域連合議会

- 議員 山本 芳昭

江府町日野町日南町 衛生施設組合議会

- 議員 大西 保
- 岩崎 昭男
- 岡本 健三

議決した議案

全員一致で承認・可決・同意しました。

- 専決処分の承認
- ・日南町税条例等の一部改正
- 正
- ・日南町国民健康保険税条例の一部改正

○財産の取得

- 除雪ドーザー8トン級1台購入
- 契約相手方
- コマツ山陰株米子支店
- 契約金額
- 16,280,000円
- (消費税及び地方消費税込)

○医療外費用

- 再任用に関する訴訟の賠償金
- 262万円

人事案件

- 教育委員会委員の任命同意
- 米積 真紀（下石見）
- (任期は令和8年5月13日迄)
- 人権擁護委員候補者の推薦に当たり議会の意見を求めることについて
- 後藤 厚見（上石見）
- (任期は令和8年6月30日迄)
- 監査委員の選任同意（議員選出）
- 荒木 博
- (任期は令和9年4月29日迄)

○一般会計補正予算

- 民生一般管理事務
- 2835万円
- 価格高騰にかかる国の緊急支援策としての交付金

○予防衛生一般事業

- 今年度コロナワクチン接種にかかる経費
- 1961万円

○病院事業会計補正予算

- 再任用に関する訴訟の賠償金
- 262万円

令和
5年度
予算

癒しの空間を創出 芝生化事業始まる

一般会計予算69億1911万円 (対前年度 1億2882万円増)

- 日南町国民健康保険条例の一部改正**
健康保険法及び、健康保険法施行令の改正に伴い、出産一時金の支給額「408,000円」を「488,000円」とする。
- 日南町消防条例の一部改正**
団員の任用要件に勤務地要件を加え本町に居住又は勤務するに、年齢要件も定年条項を廃し18歳以上に改正
- 令和4年度一般会計補正予算**
国土調査事業 業務委託料 1309万円
国の補正を踏まえ事業費の増額 3地区 1.67km
- 道路維持管理事業 除雪費** 4410万円
町道・生活道及び県道除雪委託の実施見込みの増額
- 商工総務一般管理事務** 4200万円
たつたもカードポイント付与町内経済活性化事業 (4,200名×10,000ポイント)
- 財政管理事務** 1億1064万円
令和3年度純繰越金の2分の1を積み立てるもの。
- 公共施設等建設基金積立金** 8750万円
- 財政調整基金積立金** 1億1064万円

中村町長は共創と協働の考えを大事にし、試行錯誤しながらも地方創生に挑戦し続ける決意のもと、令和5年度予算編成にあたり、①町民の安心安全 ②地方創生とSDGsの推進に向けた取り組み ③日南町DXの推進 ④グリーン社会の実現に向けた取り組み ⑤財源の確保 ⑥より良い行政サービスの提供 ⑦社会情勢とニーズに対応した事務事業の再編 の7項目を、将来希望の持てる町となる予算として方針を示された。

日南町議会の3月定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。町長の令和5年度施政方針を受けた一般質問では、5人の議員が登壇し2日間にはわたり町政運営に対し、課題や方向性など活発な議論を展開しました。執行部から提案された副町長の選任、日南町課設置条例等の一部改正、令和4年度各会計補正予算、令和5年度各会計当初予算など全35議案は原案のとおり可決しました。予算審査は、議長を除く9人の議員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、担当課から詳しく説明を受けるなど深く審議したうえで、審査意見を付して本会議に提出し最終日に可決しました。(審査報告は7ページに掲載)

副町長の選任
地方自治法の規定により副町長の選任の同意について投票が行われ、角井学氏が選任されました。任期は令和5年4月1日から令和9年3月31日まで

議決した主な議案
日南町課設置条例等の一部改正
企画課の名称を地域づくり推進課に改める。
人権センターの所管を教育委員会に移管する。
住民課の事務分掌に児童手当制度、特別医療費助成制度に関することを追加。



かくい まなぶ
角井 学 副町長

令和5年度 会計別当初予算額

会計	金額	前年度比較
一般会計	69億1910万8千円	1億2881万7千円
国民健康保険特別会計	6億3570万3千円	1601万1千円
介護保険特別会計	9億3467万2千円	3518万4千円
介護サービス事業特別会計	5666万4千円	△165万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億507万3千円	27万8千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	1915万3千円	713万8千円
鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計	51万8千円	51万8千円
簡易水道事業会計	2億4260万2千円	△300万8千円
下水道事業会計	2億5892万6千円	508万2千円
病院事業会計	14億2376万3千円	6276万5千円
合計	105億9618万2千円	2億5112万7千円

ここに注目

令和5年度 当初予算の主な事業

携帯電話等エリア整備事業
3600万円
町内の携帯電話不感地域解消のため、基地局整備を行う



生山駅・上石見駅開業100周年記念事業
250万円
生山・上石見両駅が開業100周年を迎えるにあたり、両駅を絡めたりJRを活用したイベントを実施



**にちなん十色園庭、文化センター
野外ステージ芝生化事業**
4078万円
子どもからお年寄りまで誰でも安心して活用でき、癒しの場となる空間を創出する

病院改築基本構想及び基本計画策定支援業務
722万円
病院改築に際し、基本構想報告書(兼、経営強化プラン)をまとめ、基本計画の策定へと病院改築事業を進める。また、町長の諮問機関として「あり方検討委員会」を立ち上げる

令和4年度補正予算の質疑を行いました。

一般会計

繰越明許費

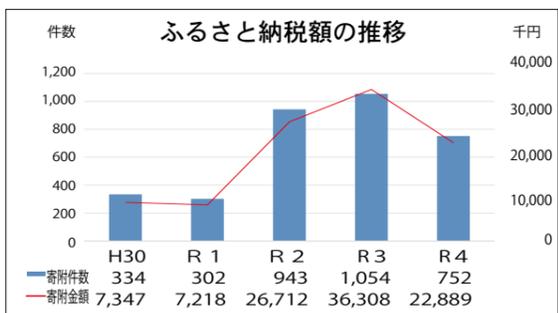
問 林道橋梁修繕工事の契約見込日が令和5年9月になっているが。

答 オオサンショウウオの生息調査が必要なため、工事の時期が遅れる。

ふるさと納税

問 ふるさと納税返礼品等の経費が6割程度減額されているが。

答 ふるさと納税の実績が計画の6割にとどまった。



問 町内で食に関する活動が活発になっているが、返礼品に活用しているか。

答 トマトの活用を始めたが、他の物は商品化に至らなかった。

住民参画町づくり

問 住民参画まちづくり交付金の減額要因は。

答 移住者誘致支援金、交流活動交付金と集落支援員の実績精査による。

ゴミ処理施設

問 最終処分費1200万円の増額要因は。

答 西部広域最終処分場の排出口水弁が塩害により修理が必要になったため。

問 ごみ処理施設建設費の増額要因は。

答 建設候補地が増え、環境調査が必要になったため。

固定資産税

問 課税されるべき二部山の固定資産税が課税されていないのはなぜか。

答 賃貸契約をした段階で、所有者との協議により免税の扱いとしたため。

タクシー助成

問 高齢者等タクシー助成事業の実績見込みは。

答 1月末時点で637名に助成券を交付、利用実績は561万円である。

がん検診

問 がん検診委託料の減額要因は。

答 新型コロナウイルスの影響もあり受診者が少なかった。

なら枯れ対策

問 なら枯れ対策委託事業が実施されていないが。

答 処分可能な場所所で当年度に被害が少なかったため委託先の森林組合との協議のうえ実施しなかった。

問 補助事業のなら枯れ対策実績は。

答 22.5haで森林の若返りのための伐採を実施。

ため池ハザードマップ

問 ため池ハザードマップ作成箇所が9箇所が増えた要因は。

答 県から予算の追加配分があり、5年度実施予定箇所が増えた。

所を前倒しして実施した。予定した箇所は全て終了。

農業者支援

問 がんばる農家プラン事業、意欲ある農業者支援事業の補助金減額要因は。

答 がんばる農家プラン事業は、機械等導入事業の落ちによる残額、意欲ある農業者支援事業は、申請件数が少なかった。

問 ワイヤーマッシュ等の購入費用が減額となっているが、希望する地域へ前倒しして導入できなかったか。

答 設置を辞退した地域もあり、町として予算が余った。



ワイヤーマッシュの納品

たが、県に返還した上で県内調整がなされることになっていて、日南町への再配分がなかった。

教育委員会

問 教育委員会全体で会計年度任用職員の報酬がかなり減額された要因は。

答 一部の会計年度任用職員が確保できなかったり、採用が遅れたため。

特別会計

再生可能エネルギー

問 当初予算が地方財政法第3条2項(注1)に反する予算であったと認めるか。

答 反省している。以後は留意していく。

問 歳入の不足分を基金から繰り入れることは、基金条例に合致するの。基金条例を見直して運営経費に歳入が不足する場合に基金から繰り入れができるようにするべきでは。

答 基金条例の目的に運営資金に充当できるよう文言の追加を検討する。

予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、令和5年度各会計予算の審議にあたり、予算審査特別委員会（委員長 久代安敏）を設置し令和5年3月6日から15日まで開催し、付託された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受け慎重に審査を行いました。その結果、いずれの予算も次の意見を付して原案を可決すべきと決定しました。

審査意見

1. 全般

地域おこし協力隊員の確保、活動は町の活性化を図るうえで、一定の役割を期待するところである。隊員の受け入れをする活動支援団体の育成を図り、募集時期を早められたい。

2. 地域づくり推進課

青年結婚・Uターン促進事業 第2期総合戦略のKPI1達成のためにもさらに積極的な取組みを求めたい。

町の魅力や移住支援策などを移住・定住関連サイトへ掲載するなど、広報・宣伝を強化されたい。

公共交通確保総合対策事業

ドア・ツー・ドア化によっても、現在の車両では

送迎できない狭い道があり、利便性の向上が求められている。町民の要望に応えるため、5人乗り程度の小型車両の導入を検討されたい。

3. 住民課

環境保全対策事業 環境保全の指針としてグリーンドリム計画を策定されたが、ゴミの減量とリサイクルの推進に関する数値目標がない。また、推進母体の環境立町推進協議会の見直しをされたい。

4. 教育委員会

総合文化センター管理事務 文化センター芝生化事業にかかる撤去処分費は、レシオを希望者に譲渡するなど経費節減を検討されたい。また、芝生植栽作業は多くの参画により芝生化の

意識向上を図られたい。さらに安定した維持管理の体制づくりも構築されたい。

クラウドファンディングやふるさと納税を活用することも検討されたい。

5. 農林課

農業総務一般

農畜産物の出口戦略を立てるため先進事例を視察されるが、課題を明確にし、十分な事前調査をしたうえで、実現可能な戦略につながる視察を実施されたい。

日南病院は、基本構想及び経営強化プランを策定されるが、施設の改築だけでなく医療体制全般についても積極的に打開策を示されたい。

第2回定期監査の報告(要旨)

3月22日に監査委員から、定期監査の報告がありました。代表監査委員 高見正司 監査委員 岩崎昭男

1. 各課の行政計画について

国が自治体で作成義務を課している行政計画について、各課から計画リストの提出を受け、根拠法令や計画年限及びホームページへの掲載状況を確認した。

その結果、日南町の行政計画は58計画あり、ホームページ内には45計画が掲載されていた。

58の計画には、各課別の掲載にとどまるもの、計画年限が過ぎたもの、特定の業種のため掲載されないもの、県のホームページにリンクされて町ホームページのトップに掲載されていないものが散見された。

トップページの「計画・まちづくり」への掲載や計画そのものの見直しに努められたい。

2. 空き家借上げ整備事業について

本事業は、移住定住者向けの住宅確保を目的に山里Roadにちんが空き家を借りあげて、修繕及び貸出しをする事業であり、現在は空き家の修繕を行っている。

この新たな取り組みについては、当該事業の対象とする空き家の選定、空き家所有者との契約(貸借期間、賃借料、貸借期間満了後の扱い等)、修繕工事(複数業者による見積等)、賃借料金の設定(民間賃貸住宅との比較)など実施過程の透明性を確保されたい。



第1号のAkiyaリノベ住宅

(注1) 地方公共団体は、あらゆる資料に基づいて正確にその財源を補そくし、且つ、経済の現実に即応してその収入を算定し、これを予算に計上しなければならない。

提案された当初予算について多くの質疑がありました。その中から一部を紹介します。

一般会計

基金の活用

- 問** 財政調整基金を取り崩す理由は。
- 答** 財源を確保し、事業を推進するため。
- 問** 日南病院の地域医療総合確保基金の取り崩しについて説明を。
- 答** 「あり方検討委員会」の立ち上げと事業運営の中で不足する資金を補う。
- 問** 日南町森林整備基金1億1千万円はまったく取り崩さないが。
- 答** 今後、税の目的に沿って利活用に努めていく。

基金の運用

- 問** 基金を一括運用するが、運用の方針は。
- 答** 現在21銘柄を運用し、6銘柄がSDGs債である。SDGs債を推進するとともに社会情勢に応じて銘柄や期間を選定する。

町有林

- 問** 町有林の施業が進むと民有林が遅れないか。
- 答** 町有林の経営審議会で民間も入って話している。特に異論はなかった。
- 問** 森林経営管理法によれば町が計画を立て、森林組合が受けないものは町が管理することになっているが。
- 答** 町有林の施業が増えて民有林へ影響を与えるのはよくない。森林組合と協力して進めていく。

指定管理施設

- 問** あらたな事業計画が出ているが、進捗状況の管理は。
- 答** 最低でも年1回は決算報告がある。物価高騰の状況も含め、緊密な情報交換を進める。

森林組合事務所新築

- 問** 経過と補助率は。
- 答** JA新築時の経過を踏まえて予算化している。

飼料用作物の栽培連携

- 問** 具体的にどんな考えか。
- 答** 酪農家、水田農家など

- 問** JICAなど政府系法人の債権の満期が20年である。リスクをどう考えるか。
- 答** 購入しているSDGs債はすべて国の機関が債権を引き受けることを確約しており、国債と同等の信用がある。

人材確保・育成・職員構成

- 問** 基本的な考え方は。
- 答** 50代の職員比率が少なく、DXや事務の簡素化も含めてやっていく。
- 問** OJT研修のシステムを確立しては。
- 答** 提案の方法を含めより良い人材育成に努める。
- 問** 会計年度任用職員の人数は確保できているか。
- 答** 確保できていない。

公共施設等管理計画

- 問** 公共施設等総合管理計画が予算にあまり反映されていないが。
- 答** 計画の修正を精査中である。

ふるさと納税

- 問** 返礼品とともに町の魅力を発信しては。

- 問** 上位に行くにはどうしたらよいか、特産品をPRするには町の魅力をどうPRしたらよいかを勉強する。



町の魅力発信で特産品のPRを

行財政改革

- 問** 34項目あるが予算にどれだけ反映されているか。
- 答** 補助金の見直しと適正化を進めている。
- 問** 他の33項目は取り組めないのか。
- 答** 各担当者の念頭にはある。職員とともに考えていく。
- 問** 上下水道料金など科学的な論拠を議論し、町民に説明すべきでは。

- 問** もらいすぎまな遊びをしてもらえる。
- 問** ランニングコストは検討しているか。
- 答** 検討している。集客、収益につながればと思う。



好評のゆきんこ村芝生化

- 問** 実体的な数値を出し、実効的な計画にしていこう。

にちなん新生活応援奨励金

- 問** 若年の子育て世帯に限定した奨励金だが、成果を上げているか。
- 答** 令和4年度実績は1件である。県と一緒にPRして進めていきたい。
- 問** 転入者すべてが対象となる制度に変更しては。
- 答** 広い世代に転入してもいいが、こういう事業があるとのPRは必要である。

養豚場排水の検査費用

- 問** 養豚場周辺の河川の検査費用を企業が負担することにしては。
- 答** 新たな事業者と協議をする。

清掃センター

- 問** 地元との契約はいつまでか。今後、大型修繕はどのくらい必要か。
- 答** 令和13年度まで運用する契約である。それまで使えるよう修繕する。令和14年度からは西部広域に移行する予定である。

- 問** 図書館、美術館やさつきホールでのイベントで来場した人にも利用してもらえる。

物価高騰対策

- 問** 具体的に予算のどこに反映されているか。
- 答** 生活困窮者支援、堆肥散布への支援がある。4月以降電気代等の動きを見て適切な支援をする。
- 問** 施政方針にあって当初予算にないのはおかしいのでは。
- 答** 数字的には上がっていないが、国への要望や社会変動に対するものを考えている。

一人あたり所得

- 問** 夜間人口一人あたり所得684万円とある。700万円にのぼすとか、そのための施策は。
- 答** 各事業部門の所得を上げるのが大事である。交付税、補助金など含め所得向上に取り組む。

特別会計

国保税、介護保険料

- 問** 運用が40年以上になるが、基幹改良で施設がもつのか。
- 答** 修繕計画を見直しながら、総合的な知見の中で修繕を進めていく。

皆伐新植

- 問** 新植の面積が30haだが、グリーンドリーム計画との整合性は。
- 答** 30haは民有林である。グリーンドリーム計画は町有林の計画である。
- 問** Jクレジット販売単価は適正か。8千円に値下げしているが、1万円に戻すべきでは。
- 答** タイミングをとらえて適切な時点で検討する。

林業の広域的連携

- 問** 新見市、真庭市と連携を進めるとのことだが。
- 答** 例えば、担い手確保は林業アカデミーがある日南町が主体的に、能力の向上は専門学校がある市で実施するなどお互いがもっている力を広域的に利用する。

- 問** 町長の選挙公約で据え置くとあったが間違いないか。
- 答** 最終的には実績を精査して決めるが、基本的には維持するとの考えである。

事業会計

病院改築計画

- 問** 改築の検討も必要だが、まず中身の充実、とりわけ整形外科を充実すべきでは。
- 答** 経営も含めてトータル的な考え方を協議する。住民や専門家の意見も聞きながら進める。
- 問** 改築ありきで考えているのか。
- 答** 財政的なことを加味して改築か新築かを決める。
- 問** 基本構想などを策定する実施主体は。
- 答** 町である。「あり方検討会」を立ち上げる。
- 問** 基本構想を策定するメンバーは。
- 答** 大病院の医局、地元医師会、県の担当部局、地域団体、子育て団体、福祉介護施設、住民などの代表者。

3月定例会審議結果

○可決・同意した議案

□…賛否の分かれたもの（審議結果は10ページに掲載）

令和4年度補正予算	一般会計補正予算（第8号）	その他	工事請負契約の変更について（令和4年度日南町TOWNS-NET同軸設備ほか撤去工事）
	国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		日南町過疎地域持続的発展計画の一部変更について
	介護保険特別会計補正予算（第2号）		工事請負契約の変更について（町道滑線道路災害復旧工事）
	介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）		副町長の選任につき同意を求めることについて
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	令和5年度当初予算	一般会計予算
	再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第1号）		国民健康保険特別会計予算
	病院事業会計補正予算（第2号）		介護保険特別会計予算
一般会計補正予算（第9号）	介護サービス事業特別会計予算		
条例の制定	日南町個人情報保護法施行条例	後期高齢者医療特別会計予算	
	日南町議会の個人情報の保護に関する条例	再生可能エネルギー発電事業特別会計予算	
	日南町一般職の任期付職員の採用等に関する条例	鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計予算	
	日南町学校給食費徴収条例	簡易水道事業会計予算	
条例の一部改正	日南町課設置条例等	下水道事業会計予算	
	日南町職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例	病院事業会計予算	
	日南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	○否決した議案	
	日南町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例	発議	
	日南町特別会計条例	消費税インボイス制度の中止を求める意見書提出について	
	日南町国民健康保険条例	<p>反対 大西 保議員</p> <p>商工会を中心に何度か話をしてほぼ順調にしている。インボイス制度の手引きにいろいろな内容が書いてあり、道の駅にはJAを通じて卸す方法もある。</p> <p>（大西、岩崎、櫃田、近藤、荒木、古都、坪倉）</p>	<p>賛成 岡本健三議員</p> <p>インボイス制度導入で電力会社が新たに負担する消費税分を賦課金に乗せする動きがある。事業者の負担増は、結局は消費者の負担増につながる。</p> <p>（久代、岡本）</p>
	日南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等		
日南町消防団条例			
日南町再生可能エネルギー発電事業基金条例			

令和5年度 当初予算一般会計・特別会計予算



一般会計

反対 岡本健三議員

会計年度任用職員と正職員の格差、にちなん新生活応援奨励金、障害者等外出支援事業、ごみ処理施設建設費、シートル派遣の事業について改善や中止を求める。

反対 久代安敏議員

物価高騰対策に基金を使用すべき。これまでの同和対策事業を総括すべき。海外派遣事業は問題がある。日南病院の改修は職員の確保も含めて協議すべきである。

賛成 坪倉勝幸議員

町の未来にむけた予算としてはダイナミズムに欠けるが、芝生化事業や物価高騰対策等に取り組む堅実予算となっている。

国民健康保険特別会計

反対 岡本健三議員

18歳以下の均等割を全額免除すべきである。また5類移行後のコロナ傷病手当を町単独で行うべきである。

賛成 荒木 博議員

基金を繰り入れ適切に対応する予算となっている。子供の均等割、コロナの傷病者手当は、国や県が検討すべきである。

介護保険特別会計

反対 岡本健三議員

介護利用料の値上げに、介護給付費準備金を使用して被保険者の負担を減らすべきである。

賛成 櫃田洋一議員

介護予防、健康増進に積極的に取り組んでおり、保険料も県内では低い方である。今すぐに基金を取り崩す必要はない。

介護サービス事業特別会計

反対 久代安敏議員

当初予算にあげている施設使用料2800万円は全額減免をして、職員の処遇改善に充てるべきである。

賛成 岩崎昭男議員

コンサルの診断を受けて経営改善を図っており、福祉会との協議により純利益の20%を利用料として支払うことになっている。

後期高齢者医療特別会計

反対 岡本健三議員

後期高齢者だけが被保険者の世界的にも例を見ない保険制度であり反対である。

賛成 坪倉勝幸議員

国の保険制度に反対だから、日南町の予算に反対と言う主張は成り立たない。

○賛否の分かれたもの

件名	結果	大西保	岩崎昭男	櫃田洋一	久代安敏	近藤仁志	荒木博	古都勝人	岡本健三	坪倉勝幸	山本芳昭
令和4年度一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
日南町個人情報保護法施行条例の制定	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
令和5年度当初予算	一般会計	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
	国民健康保険特別会計	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
	介護保険特別会計	○	○	○	×	○	○	○	×	○	—
	介護サービス事業特別会計	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	—
後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	—	

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

提出のあった請願・陳情は、3月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。なお、賛成・反対とあるのは、請願・陳情原案に対する討論です。

問 誇りを持てる町とは

答 子どもたちに“良い町だよ”
と言えることが大事



櫃田洋一 議員

防災基地では一部の事業者が入ると認識している。全ての事業者が入るかどうかが調査し、不
外を解消するべきでは。

「健康」が一番大事。若い時は体力があり、大きな病気にかかるとは少ないが、高齢になっても維持できることが大切。病気をゼロにできないので、「検診」を早期発見・早期治療につなげていく。

具体的な取り組みは。

安心して暮らせる町

「自然の豊かさ」が魅力だと言われるので私たちが日南町の良さ、地域が持っている力を再認識して進める。また、特徴のある教育を進めるとは違う良さを伝える。

誇りを持てる町に向けて、どう取り組むのか。

具体的取り組み



ドローンを自在に操る子どもたち

自治体DX・デジタル活用によって住民サービスの向上が望まれる。住民課の窓口で証明書の発行手数料にたつたもカードは利用できるのか。

料金の収受に問題があり、利用できる。住民課の窓口で利用できることは必須である。

「先ず隼より始めよ」

自治体DX・デジタル活用によって住民サービスの向上が望まれる。住民課の窓口で証明書の発行手数料にたつたもカードは利用できるのか。

料金の収受に問題があり、利用できる。住民課の窓口で利用できることは必須である。

感地域解消に向けて進める。

子どもたちが校内で自主的にイベントを開催して仲間作りに貢献したり、ドローンを活用した産業の勉強をしている。

日南小学校へ寄贈された小型ドローンの活用状況は。

日南町の活性化や自主財源確保等も含め、積極的に取り組む必要性を感じる。

ので検討し進めていきたい。

将来の日南町の姿に大きく貢献するものだと思う。光ファイバー化の強みを生かして積極的に進めていきたい。

日南町の活性化や自主財源確保等も含め、積極的に取り組む必要性を感じる。

ので検討し進めていきたい。

Table with 4 columns: 令和5年請願第1号, 提出者, 審査意見, 採決結果. Content includes requests for childcare staff and a response regarding national standards.

Table with 4 columns: 令和5年陳情第1号, 提出者, 審査意見, 採決結果. Content includes a request for a childcare center and a response regarding national standards.

Table with 4 columns: 令和5年陳情第2号, 提出者, 審査意見, 採決結果. Content includes a request for school lunch and a response regarding national standards.

Table with 4 columns: 令和5年陳情第3号, 提出者, 審査意見, 採決結果. Content includes a request for agricultural support and a response regarding national standards.

Table with 4 columns: 令和5年陳情第4号, 提出者, 審査意見, 採決結果. Content includes a request for disaster relief and a response regarding national standards.

町政のここが聞きたい

問 早急に携帯電話不感地域の解消を

答 5年度事業で基地局
3局を整備予定



岩崎昭男 議員

問 带状疱疹ワクチンの一部助成を

答 実施するよう前向きに検討する



大西 保 議員

問 5年度に携帯電話基地局整備の予定だが、エリア拡大される地域と基地局数は。

答 町長
整備地域は決定していないが、携帯電話が全く使えない地域を優先し、3局を整備する予定。

問 携帯電話整備事業

答 町長
町内に20か所基地局が設置された。エリア拡大は大菅、元菅沢地内の一部となっている。

問 携帯電話エリア拡大

答 町長
早急に不感地域解消をすべきと提案してきたが、この4年間で携帯電話通話エリアの拡大が図られた地域は。

問 携帯電話エリア拡大

答 中村町長
2月14日にDXチーム会議を行い令和4年度のタスク(業務等)管理、令和5年度のタスク設定をしていくことを決定した。今後各課で整理を行いアクションプランの修正を行う。



町事業で設置した基地局 (鬼林山)

問 行政ポイントの活用

答 町長
行政ポイントは町の活性化に寄与すると考えるが、新たな活用計画は。

問 たったもカード

答 町長
有効期限切れとなったスペシャルポイント数と、ポイントの扱いは。

問 令和4年7月13日付与までの3回分で総額734万ポイントが失効している。失効ポイントは精算し、国からの指示があれば返還することとなる。

答 町長
令和5年度からの新たな取り組みとして、転入者一人あたり5,000ポイント。まちづくり協議会において行う事業において行

問 まちづくり協議会

答 町長
町長施政方針テーマである「共創・協働」において、まちづくり協議会の役割は。

問 地域おこし協力隊

答 町長
令和5年度地域おこし協力隊員の募集及び内定状況は。

問 定住率向上への提案

答 町長
新たに14名を募集している。そのうち、農業研修生の4名が内定済み。

問 移住定住者の定住率を上げるためにも、移住定住者による意見交換会や交流会を計画しては。

答 町長
提案は非常に有効であると考え。先進地の事例を参考にしながら検討する。

問 情報化推進計画アクションプランの実施状況は。

答 中村町長
2月14日にDXチーム会議を行い令和4年度のタスク(業務等)管理、令和5年度のタスク設定をしていくことを決定した。今後各課で整理を行いアクションプランの修正を行う。

問 養豚農場の状況は

答 町長
2月2日の全員協議会以降、どのような動きがあったか。

問 今後の取り組みは

答 町長
農場の今後の計画が示されていない状況で、町としてどのような取り組みを考えているか。

問 グリーンドリーム計画

答 町長
2月の時点でこれから計画を作ると報告を受けた。出来るだけ早く報告するとメールを受けている。

問 廃棄物の削減・リサイクル率向上項目

答 町長
第一に町有林の皆伐・新植の推進。第二にフードドライブや廃食油回収の推進。第三に講演会や学習会の開催など。行動の変容につながる啓発や情報提供を行う。

問 計画の重点項目

答 町長
グリーンドリーム計画の数値目標で、主な取り組みは。

問 ゼロカーボンシティを実現するため、二酸化炭素排出量の削減に積極的に取り組み、更に本町の豊富な森林環境を最大限

答 町長
町長の思い・考えは計画に織り込まれているか。



町ホームページ掲載
<https://www.town.nichinan.lg.jp/material/files/group/21/greendream4.pdf>

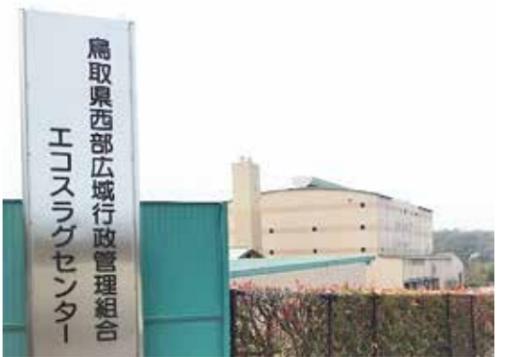
町政のここが聞きたい

問 西部広域の大型ごみ処理施設
基本構想の見直しを

答 再点検を含めながら検討する



岡本健三 議員



短期間で閉鎖されたエコスラグセンター

答 町長
建設、維持管理費は総額90億6千万円で日南町の負担額は3億6千万円、収入は650万円である。

問 エコスラグセンター
2016年に停止した西部広域行政管理組合の灰溶融施設(エコスラグセンター)の建設、維持管理費とその日南町負担額は、また、スラグなどの販売収入は。

答 町長
建設候補地の自治連合会から撤回を求める要望書が米子市に提出されているが、そのうちのごみも乗り越えてどこかに設置しなければならない。

問 ごみ処理施設候補地
建設候補地の自治連合会から撤回を求める要望書が米子市に提出されているが、そのうちのごみも乗り越えてどこかに設置しなければならない。

問 ごみ排出量の数値目標
最終処分場を延命させるためにもごみを減らす必要がある。グリーンドリーム計画で、1人あたりのごみ排出量の数値目標を定めるべきでは。

答 町長
基本構想に随時変更点もある。それに伴い必要な費用もある。

問 濃縮水処理施設
大型ごみ処理施設の基本構想に最終処分場の濃縮水処理施設の費用が入っていないのでは。

答 町長
基本的なところは間違っていない。法律の中でやっていく。

問 早期停止の原因は
巨額の税金を投入しながら11年間しか使わなかった原因は。

答 町長
処理量の減少と施設の修繕費の増加で処理単価が急増したため。

問 大型ごみ処理施設基本構想
現在西部広域で進めている大型ごみ処理施設の基本構想は、温暖化ガス排出抑制やプラスチックごみ削減など近年の環境問題を取り入れていない。このままではエコスラグセンターのように早期停止することにならないか。

答 町長
現行の計画を再点検する。大型ごみ処理施設の基本構想も再点検を含めながら検討する。

問 地域おこし協力隊の定住
町が任用する隊員について、協力隊終了後の職を考えては。

答 町長
3年後の仕事を最初から決めるのではなく本人の意向を聞きながら進めていく。町と意向が合致すれば、それなりのポジションを作る。

問 隊員の副業
活動の幅を広げるため、町が任用する隊員の副業を認めては。

答 実延総務課長
定期的な副業も含め、現在でも内容を吟味し認めている。

問 物価高騰対策を急ぎ
暮らしを守れ

答 経済動向を見ながら
必要な対策に取り組む



久代安敏 議員

問 大軍拡予算
町長の施政方針では、国の防衛費が約7兆円とある。過去最高の予算となっていることをどう受け止めているか。

答 中村町長
昨今の社会情勢から、政府の方針は理解している。但し予算や財源確保は十分な議論と国民に丁寧な説明を求める。

問 新型コロナ「5類」への移行
政府は新型コロナウイルスの位置付けを、5月8日からインフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針であるが、日南病院の医療体制は十分に整っているか。

答 町長
新型コロナウィルス感染症の基本的な対応は、日南病院においてはこれまで通りの医療体制で対応を行う。

問 PCR検査
無料のPCR検査は、感染拡大を防ぐために重要であるが、継続の見直しは。

答 町長
鳥取県の無料PCR検査は、3月末まで延長されているが、4月

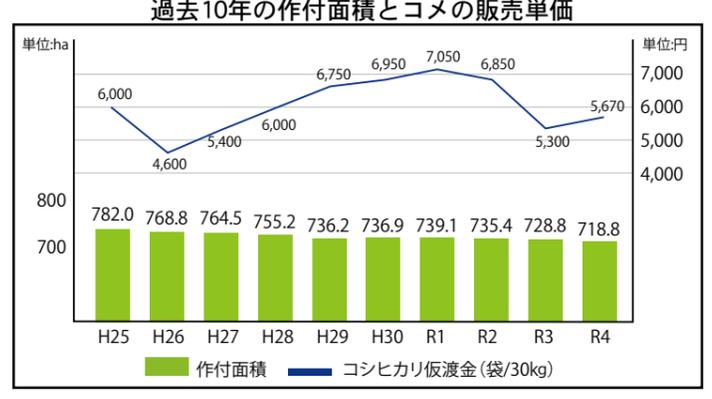
問 持続可能な農業再生
①議会は「水田活用直接支払交付金に関する意見書」を国に提出したが、その後の対策は。
②基金を活用して、町が一時期農家から買い上げて販売する日南版「食料管理制度」の創設を提案する。

答 町長
①制度の見直しに向けて町からも要望をしている。政府は全国の意見集約などしてルールの具体化など見直しを行っている。
②現在のコメの価格は市場価格で流通している。町内の販売は概ね相対取引5割、JA出荷4割、自家用米1割が実態と思われる。こ

問 物価高騰対策
以降も継続が計画されている。

答 町長
①地方創生臨時交付金や財政調整基金を使い、物価高騰対策を急ぐべきだ。
②肥料の高騰対策の申請状況は。

問 持続可能な農業再生
①令和5年度の地方創生臨時交付金について、明確なものは示されていないが、町内の経済動向を注視し、物価高騰対策に取り組んでいく。
②申請状況は2月28日現在、秋肥分10件、春肥分40件程度を受け付けている。



の状況下においては厳しいと考える。

問 タクシー助成
制度改正による変更点は。

答 町長
障害者手帳保持者及び必要支援、要介護認定者で自動車免許を保有しない住民税非課税の方を対象に、移動にかかるタクシー料金の内、片道500円を超えた額(5千円上限)を年間8回まで助成する。

住宅政策及び中心地域調査特別委員会 2月13日

中心地域整備について(企画課)

- 中村町長から中心地域整備の今後の方針について説明を受ける。
- ・2ヶ年をかけて中心地域整備計画をまとめる
 - ・これまでの経緯と平成30年に行ったアンケートの検証と検討
 - ・ワークショップの開催

林業アカデミーの住宅整備について(農林課)

- 学生による住まいに関するアンケート報告を受ける。(アンケート内容)
- Q. 専用の宿舎は必要ですか。
A. 必要7人、必要なし7人
- Q. 建築場所は。
A. 生山・霞地内5人、多里地内5人
- Q. 宿舎に求めることは。
A. 家賃が安いことを望む声が圧倒的に多い。

本委員会の調査結果について、3月24日の本会議において特別委員会委員長(近藤仁志)が報告をしました。(要旨)

住宅政策及び中心地域調査特別委員会報告書

1. 委員会の経過

令和3年6月22日に設置された本委員会は、11回の委員会を開催し住宅環境調査に基づき、有効的な住宅政策の在り方について鋭意検討を行った。

2. 調査内容

- ・公営住宅の入居状況と入居条件及び住宅の実態調査。
- ・一般社団法人山里Loadにちなん設立の経緯、現況と問題点。
- ・民間活用住宅整備事業計画(PFI住宅実施計画)について、場所、進捗、今後の方針。
- ・林業アカデミーの学生専用住宅整備について。

3. 調査結果

一般社団法人山里Loadにちなんは、観光対策、移住定住のアンケート実施、空き家活用の先進的事例等を参考に方針を示されている。関係人口の増加は本町の重要課題であるので、取り組みに期待する。

民間活用住宅(PFI住宅)整備においては、令和4年5月23日の募集締め切りに参加表明がなかった。今後は、民間事業者のリスクが低いとされるBTO方式で募集を続けると報告があり、特定公共賃貸住宅を望む声も多い現状から、公募を行いながら情勢を見極める。

林業アカデミーの学生専用住宅整備は、住宅需要の多様性を勘案してアカデミー限定の学生専用住宅建設の必要性はない。空き家を含め公営住宅等への入居を勧めながら、町全体を網羅した計画であるべきと意見集約した。

中村町長は本委員会において、今後2ヶ年をかけ中心地域整備計画をまとめるため、これまでの経緯と平成30年に行ったアンケートの検討、ワークショップの開催を行うと発言された。

住宅政策及び中心地域の活用は短期に決する事案でなく、動向を注視し英知を出し合うことが必要であるとの意見が多く出されたことを申し添えて、本委員会での調査を終了する。

総務教育常任委員会 3月16日

学校運営協議会(教育委員会)

令和4年度よりスタートした学校運営協議会の活動実績と来年度に向けた取り組みの報告を受けた。協議会の開催予定6回に対し5回行い、6回目は3月20日に「来年度の取り組み案の協議と学校経営方針の承認」をテーマに実施する予定であるとの報告を受けた。

- 問 合い言葉などを決めて一体体制を持たせるとあったが、どのような内容か。
答 目指す子供像として、「主体性」「つながり」「夢」の三つを合言葉にした。
- 問 協議会の役割として、教職員の任用に対して教育委員会に意見を述べる事が出来るか。
答 今年度は意見がなかった。
- 問 意見はいつ頃までにすればいいか。
答 10月頃までに意見があれば反映できると思っている。

- 問 2月27日開催の協議内容は。
答 あいさつ運動をどのように進めて行くかを協議した。
- 問 学校現場で「よく遊び、よく学び、思いやりのある子供に」を出来ているのか。
答 人とのつながり、地域とのつながりを大切に思っている。
- 問 コロナが2類から5類へ移行するが、学校としてどのような対応をしていくのか。
答 現在検討しているところだが、入学式から来賓出席も従来通りする予定である。

経済福祉常任委員会 3月16日

除雪状況について(建設課)

①除雪委託料集計

	(千円)		
	県道除雪	町道除雪	合計
予算額(補正額含む)	182,000	126,000	308,000
支払い見込額	180,146	106,733	286,880

除雪車両
町(30) 借り上げ(20) 県(15) 合計65台

②除雪作業中の事故発生報告

- 事故発生日：1月25日(水)
- 三栄地内で5tドーザが転落横転
- ・運転手に怪我はなかったが、車両が自走不能となり修理が必要となった。
 - ・修繕費は保険を適用し、完了は3月中頃の予定。
 - ・今後の対応としてスノーボールの設置を徹底し、再発防止に努める。

□茶屋地内でグレーダーが脱輪

- ・運転手に怪我はなかったが、車両が走行不能となった。
- ・車両の損傷はなし、道路の損傷については請負事業者が補修を行った。



全員協議会

所管各課から、報告事項や事業の進捗状況などについて説明を受け、質疑を行いました。

1月19日

◆個人情報保護条例

議会における個人情報の保護に関する条例制定に関する協議。

◆グリーンドリム計画

4年度策定の環境基本計画の素案について、説明を受けた。
年度末に策定の予定。

◆小児科外来

5年度から日野郡内の公立病院・診療所に共同で採用し、日南病院に週2日勤務予定だった小児科医師が、鳥大病院の都合により配置できなくなった。

2月2日

◆地域おこし協力隊

5年度採用予定のチャレンジ起業型、インターン型や農業研修生等としての地域おこし協力隊の募集



地域活動の拠点・集会所

(総数22人)を行う。

◆養豚場新規経営者

養豚場の新たな経営者がファロスファーム(株)に決定し、前会社から土地・資産を引き継いだ。
具体的な事業計画は未定。

◆集会所支援交付金

町内の自治会、集落が管理する集会所の運営費を支援するため、5年度から一集会所当り月額2千円を交付する。

◆マインクラフト地域パートナー

プログラミング学習などに効果が期待できるほか、町の取組みを全国にPRする事ができるマインクラフトの地域パートナーとして締結する。

◆障がい者等外出支援

ドアツードアデマンドバスの運行に伴い、高齢者等タクシー助成事業に変えて5年度から障がい者・要支援要介護認定者に対してタクシー料金等の助成を行う。

◆個人情報保護条例

現行の個人情報保護条例を廃止して、国の法律に基づいた新たに個人情報保護法施行条例を制定する。

◆西部町村情報保護特別会計

西部町村が共同で設置している情報公開・個人情報

報保護審査会の運営を行うための特別会計事務を5年度から2カ年、日南町で行うために特別会計条例を改正する。

3月20日

◆工事請負契約の解約

町道上坂線(三吉)の舗装修繕工事について、4年11月に業者と請負契約を交わしたが、その後町と地元との調整が遅れていた。計画どおりの工事が出来なくなったことから、業者から解約を申し入れされ解約した。
今後工事内容を再検討し、改めて工事発注する。

事業基金の処分について、発電事業の運営経費に充当できるよう条例改正する。

◆広報紙への広告掲載

自主財源確保の一環として、広報紙にちなんに有料広告を掲載する。

◆規則の一部改正

課設置条例改正に伴う、行政組織規則と教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正の内容説明。

3月24日

◆専決処分

国の法改正に伴い、税条例および国民健康保険条例を改正する専決処分を4月1日に行う。

◆選挙公報

選挙公報の配布については、従来どおり新聞折り込み、ホームページへの掲載および希望者への個別配布とする。

第1回臨時会

令和5年1月19日

財産の取得

取得財産の内容

日南町印賀字二部山33番の土地 73.9 ha
契約の相手方
日南町宝谷1343番地
井上輝之外36名
(二部山地主会)

取得予定価格

2600万円

日南町税条例の一部改正

特定非営利活動法人「ハーモニイカレッジ」に対して支出された寄付金を、個人町県民税の寄附金税額控除の対象とする期間を「令和9年12月31日まで」に更新する。

一般会計補正予算

・介護保険事業

655万円
あかねの郷ボイラー更新工事に伴い、介護サービス事業特別会計への繰出金

・母子父子福祉事務

201万円

妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、経済的支援計10万円を実施。
対象者：令和4年4月以降に出生された方

・道路維持管理事業

1億3700万円

町道・生活道及び県道除雪委託の実施見込みの増。

もっとくわしく 質疑応答

提案された議案について多くの質問がありましたので、その一部を紹介します。

問 国の出産子育て応援交付金の説明を。

答 この応援交付金は義務ではないが県内全市町村で取り組み予定。
妊娠届時に5万円、出産時に5万円を現金で支払う。(20人を予定)

議会活動報告

2月

2日 全員協議会
13日 住宅政策及び中心地域整備調査特別委員会
24日 議会運営委員会

3月

2日 3月定例会本会議
(一般質問ほか)
3日 3月定例会本会議
(一般質問)

6日 3月定例会本会議
議会広報常任委員会
7日 予算審査特別委員会
8日 予算審査特別委員会
9日 予算審査特別委員会
13日 予算審査特別委員会
14日 予算審査特別委員会
15日 総務教育常任委員会
16日 経済福祉常任委員会
20日 住宅政策及び中心地域整備調査特別委員会
24日 全員協議会
3月定例会本会議

4月

6日 議会広報常任委員会
24日 議会広報常任委員会

5月

9日 全員協議会
12日 臨時会
16日 全員協議会
16日 議会広報常任委員会

町内の畜産農家による放牧利用



日南町議会は新議員2人が加わり、5月12日改選後初の臨時議会を開催。各議員に抱負と町の魅力を聞きました。

町民の声に耳を傾け、抱負に込めた思いを行動へと展開してまいります。

われら 愛と熱血 10レンジャー

町民の声がエネルギー



馬鹿者のあすへの提言熱意込め

近藤 仁志 (70才 3回)
おいしいお米にホテルの乱舞ファン募集



皆の声しっかり聞いてスカッと解決!

岩崎 昭男 (64才 2回)
豊かな自然の恩恵に包まれた温かな人々の優しさ



老い・若き声を届けて暮らしを守る

荒金 敏江 (74才 1回)
福祉充実と女性活躍の歩みを引き継いで



初議会新時代に向かいいざ挑戦

高橋 洋志 (64才 1回)
農・林業で所得拡大に向け企画、立案。



活かします町民の声を町政に

山本 芳昭 (63才 4回)
花鳥風月 都会に無いものがここに



住みやすい経済福祉活性化

櫃田 洋一 (57才 2回)
不便さもあるが、住みやすいまち日南町

困りごと素早く動く議員活動



大西 保 (71才 3回)
芝生の上で家族や仲間たちとオートキャンプ場…ゆきんこ村…

皆さんの声をよく聞き町政に



荒木 博 (66才 4回)
住んでよし 暮らしてよし災害の少ない日南町

全世代が暮らしに希望もつ町を



岡本 健三 (53才 2回)
生物と資源の宝庫=豊かな里山が夢を育む町



畦みちに腰居ろし喰む自由と平和

久代 安敏 (67才 7回)
老いも若きも手つなぎこの町変えへる議員たらむ

道 どりこい、この町に生きる 草



バツグントウ・ザニチヤシ

高木 康平さん (生山)

生い立ち

生まれは岐阜県関市で高校卒業まで過ごして、大学で鳥取にきました。

当時テレビ番組のプロジェクトXなどで砂漠緑化のことが取り上げられており、その分野で有名な鳥取大学へ進学しました。

もともと自然が好きで、日置教授の門をたきました。
なぜ日南町に就職を

日南町と交流のある教授の関係で活動をさせてもらい、サクサクの自生地を見て回った時に、「自然を守る」というのは地域の方の努力によって行われているのに高齢化でこのまちはどうなるのだろうか……。まず、地域を活性化させないといけないという思いから、中山間地の産業に関心を持つようになりました。

また、日南町がFSCの認証を目指していたこともあり、日南町

役場で働くことを決めました。役場時代は、林政室で3年間町有林の担当をさせていただきました。

その後、海外青年協力隊へ

植林の普及業務でソロモン諸島へ2年間行きました。

受け入れ側も初めてのボランティアで、手探り状態の活動でした。他国から来られた調査に協力したり、職場の業務改善をしたり日々新鮮でした。苗畑を作るシステムを普及させたのが置き土産となりました。

食事は合わなくて体重が10kgくらい減り不満はこれだけでした。

温暖で気持ちの良い気候で同じ地域に日本人ボランティアが一人だけ居て、1店だけあるBarに月2回ビールを飲みに行くのが楽しみでした。浜辺のテラスで飲むビールが今までの人生の中で最高で、これ以上のビールは今までにないです。

再び日南町へ戻って思うこと

林業従事者の技術が益々必要になってくると思います。昔は、林業は自然破壊というイメージがありました。今は「林業」をやっている人が自然を守っているというイメージが変わっていいです。林業が木材生産だけでなく、観光などの他の産業にも影響し、町の活性化につながって欲しいと思っています。



環境林での授業

編集後記

この度、議員の改選により当選させていただき、議会広報常任委員会の副委員長をさせていただきました。議会だより第171号の広報は途中より引き継いだ形で編集、発行になりました。(議員自ら8回会議を行い校正作業等、自主製作活動にビックリ) 議会広報常任委員会の伝統を継承しつつ、皆様により親しまれる広報誌を発行していけるよう研鑽していきたいと思います。

農繁期を迎え、何かと忙しい中、熱中症等に留意され、どうか無災害にて、実りの秋を迎えられることを祈っております。

高橋 洋志 記

発行責任者

議長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

委員長	久代 安敏
副委員長	高橋 洋志
委員	荒金 敏江
委員	岩崎 昭男
委員	大西 保
委員	近藤 仁志